

# 第6学年特別活動(学級活動)学習指導案

日時 平成16年 9月 3日(金) 第5校時  
児童 6年1組(男子17名、女子19名、計36名)  
指導者 熊谷佳子

## 1 題材名 よりよい班をめざして「 班宣言！」

### 2 題材設定の理由

4月、クラス替えをした児童は、新しい人間関係の中でなかなか自分を出せなかったり、周辺児や孤立児と思われる児童の願いについて鈍感になったり、思いやりの足りない面が見受けられた。また、一人一人がばらばらであり、クラスとしての集団のまとまりや、仲間意識も持てない状況が見られた。

しかし、1学期に行われた運動会や、修学旅行を通して、少しずつクラスのまとまり、集団帰属意識が芽生え始め、7月に行われたドッジボール大会では、「団結力を高めよう」のスローガンのもと、クラスの皆が1つのことに向かって練習を重ね、本番では、自分のクラスに大きな声援を送るなど徐々にクラスのよさが見え始めている。

1学期末にとったアンケートでは、クラスのよさとして、「明るいところ」「男女の仲が良いところ」「励ましあえるところ」などを上げた子が多く、(明るい25名、男女の仲が良い15名、はげましあえるところ8名その他靴箱の靴がいつもきちんとそろっている、授業に集中している、勉強をがんばっている、返事が大きな声でできるようになってきた、掃除にまじめに取り組んでいる、休み時間には外や体育館で遊んでいるなど……複数回答可・記述式)もっとよいクラスにしようという気持ちも持ち始めている。

そこで、2学期という最高学年として充実の望まれるこの時期を迎えるにあたって、自他の願いやあり方を見つめ直し、学級の一人一人が学級にとってかけがえのない存在であることを改めて自覚させ、助け合い、協力し合える人間関係を育てる必要がある。2学期初めの新しい班編成を受けて1週間、よい班を作り上げようと一人一人が意識して行動することが、クラス全体の集団の高まりにつながることで、集団の高まりは、個人にとっても、よい影響を与えることに気付かせ、より望ましい学級生活を築いていくことができるようにと考え、本主題を設定した。

指導上留意した点は下記の4点である。

- ・ 1学期は、修学旅行を視野に入れた、仲間から発展させた班編成だったが、今回は、いろいろな友達と組んでも班としてうまくまとまっていくことをねらいとした班編成とする。人間関係をより広げてほしいことと、学級としての信頼関係が高まったからこそできる班編成である旨を伝えたくて編成替えを行い、新しい人間関係の中でも自分らしさを発揮しながら、よい班を作り上げようとする意識を育てる。
- ・ 全体の場ではなかなか発表したがない児童もいるが、そんな子も少人数ならば自分の意見を発表できる子が多いので、話し合いは、班ごとを単位として少人数で行う。全員参加、全員思考、全員発表という場を設定する。
- ・ 「よさ」のモデルを「 班は、みんなで協力し合って掃除をしている」というような集団としてのよさだけでなく、「 さんが~してくれたこと」と示すことにより、一人一人のよさにも触れさせ、一人一人の思いやりのある行動、様々な場面でのがんばり等が班をよくする原動力になることを実感させる。友達によさを認められることにより、学級の中での存在感を得たり、役に立っていると自覚したりすることができるようにする。
- ・ 振り返りでは、話し合いの仕方も含めて振り返りをさせる。自分の考えを持って話し合いに参加できたか、話し方、聞き方は、どうだったかを振り返ることにより、次回はよりよい話し合いができるようにしようという実践的態度を養う。

### 3 本題材にかかわる指導の流れ

- 8月26日 班のめあてを決めよう「さあ、2学期！新しい班でスタート！」  
9月 3日 よりよい班を目指して「 班宣言」  
10月 ありがとう今日で解散「言葉の花束」

#### 4 本時の指導

##### (1) ねらい

- ・ よりよいクラスを作るために自己のこれからのあり方について目標を持つことができる。【関心・意欲・態度】
- ・ 班員あるいは班のよさを見つけることができる。【思考・判断】
- ・ 話し合いの活動において、自分の考えを发表或し、友達の意見を聞いたりすることができる。【技能・表現】

##### (2) 展開

段階	学習内容と学習活動	指導上の留意点 ・教師の支援 *評価	資料
導入 10分	1 学習課題をつかむ ・ 新しい班になって 1 週間を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">             班のよさ(自慢)を見つけ、紹介しよう。           </div> 2 「よさ」の理解をする ・ 「よさ」とはどんなことか知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 始業式の日に立てた新しい班のめあてを紹介し、この1週間で自分が班の一員としてめあてに向かって生活しているかを振り返りができるようにする。</li> <li>・ この1週間で担任が見た班員のよさについて各班一つずつ紹介し、ほんの小さな「よさ」でも「よさ」として認められることを理解できるようにする。</li> <li>・ 「明るい」などの抽象的な概念ではなく、具体的な事実を書けるように話す。</li> <li>・ 作業についての説明をする。</li> </ul>	班ごとのめあて  「よさ」提示カード
展開 28分	3 自分たちの班(班員)の「よさ」を話し合い、カードに記入する。  4 全体の場で代表者が発表する。  5 さらによい班になるために「班宣言」を考える。  6 全体の場で「班宣言」をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書けない班や、話し合いが進まない班には、日常の中のさまざまな場面についての視点を与える。                * 班(班員)のよさを見つけることができたか。【思考・判断】                * 自分の考えを发表或し、友達の意見を聞いたりしているか。【技能・表現】</li> <li>・ 黒板の前で班の話し合いの結果を発表させる。                ・ それぞれの班について担任の立場でコメントしていく。</li> <li>・ 全体発表を聞いて、自分の班がさらによくなるために伸ばしたいところを考えて、「班宣言」としてシートに書く。                * 全体発表(他の班の発表)を聞いて、自分の班が今よりもっとよくなるための具体的な行動について考えようとしているか。【関心・意欲・態度】</li> <li>・ 各班の発表を受けて、支え励ましあうことの大切さに触れ、よい班になるうと一人一人が努力すること、意識すること、実践することが実は、学級目標、あるいは学校目標に近づくことにつながることに気付かせ、よりよい班を作っていこうとする気持ちを育てる。</li> </ul>	「よさ」(自慢)カード  班シート  宣言シート  日記 説話等
終末 7分	7 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りカードにて振り返りをさせる。                * よりよいクラスを作るために自分がこれからの学校生活でがんばることについてめあてを持つことができたか。                【関心・意欲・態度】</li> <li>・ 2、3名の児童に発表させる。</li> <li>・ 実践への意欲を持たせて終わりとする。</li> </ul>	振り返りカード



